

夕刊
行發日四十月八
今日は南の風
明日は南東の風

北支事件特別税法施行に就て

平稅務署長談 (二)

其他貴石、貴金屬製品、行期内に受けることあるべ
寫真機、蓄音機、樂器等の利益配當、若くは公社債
特別物品の消費者は相當權利を根拠に課税せらるる
税力ありと認めまして是等に對して貴石、貴金屬製品
の物品に對し從價二割の特寫真機、蓄音機、樂器等の
別消費税を物品特別税の名稱で特別税中の一特異と言は
れの下に賦課することとせらるることとせらるること
致されたのであります。就ては本税に關し少し
此の増税に當りましては一詳述致すものは課税の對
象入衆の負擔に歸する租税と異なるものと見れば即
ち徴は極力之を避けたのでらるるものと見られます
りまして政府當局の苦心第一種(物品特別税課税物
品)跡に充分之を認め得るの
であります。

施行期間及歳入概算
前此の増税は事件の性質
上之を本年度限り又は一年
限りとし而して其の歳入額
は昭和十二年に於て六十
六百餘萬圓、昭和十三年
に於て三千四百餘萬圓、合
計一億餘萬圓の豫定とな
つて居るのであります。

北支事件特別税の一
特異
物品特別税
以上通算致しますに所
得特別税、臨時利得特別税
利益配當特別税、公債及社
債利子特別税の四税は現に
存する税額を根拠に又は施

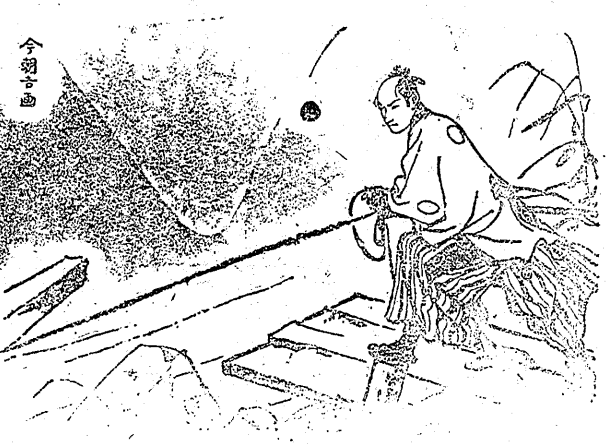
平局俳諧會八月句會
(四)
編貫 千繪 女
湖風に吹かれゆく朝涼ゆる
病室の蚊帳くくする真夏かな
山家めぐる細き流れや夕河鹿
河鹿の音聴きつゝ開の野風呂かな
夕立雲せまりて草のいさげかな

妖刀流轉
(166) 邑井 貞吉演
佐々木今彌吉演
鬼劍の名譽手 (三)
周圍に見てゐた一同もハ
ツと思ひ、目を丸くしてあ
る中に、澤田角右衛門の投
げた証付の手裏劍、實に
手練といふもの鮮やかな
で、ハツとばかり渡し船
ついでに坂月秋満の兩名、
ガクリとした。

病む宵
加藤あきら
遠く祭りの
唄響きいて
何時か泣いて
床の上
着けて見たさの
袖の浴衣
見れば 淋しや
目をそらす

村の笑話
小濱牧泉
詩 田村 龍子
戀愛浄土を語る
五十嵐雄之
筆隨人同
美崎 一 郎
石橋 榮 子
野本 多 澄
小濱 牧 泉
鈴木 光 二

思ひ出 (長歌) 板垣喜久子
憶 短歌... 晚霞 嶺 君子 清長 みどり
英尾 芝鳴 賢介 多福夫 一郎 澄
俳句... 何鳴 旗城 欣々子 露草
清 村 松 雄 影 克聖 松堂 梅檀子 武門 栄子



乗合一同の大迷惑、是強いなア〜
と乗せて貰つたのが嬉し
非難は向ふ岸へ參つてか
ら、貴殿等兩所と拙者と
充分にお掛合も承はり、そ
の上で次第に依つては拙者
も武士だから、真跡のお對
居る中に、舟が向う河岸の
手も仕らう、向ふ岸へつく
川崎へ着いた
町人達はゾロゾロ上り、
かの若い者は澤田の方を三
拜九拜して急ぎ足に立去り
ました。あとの連中は澤
田角右衛門と二人侍の争
論が何なるかと思ふ興味
もあり、殊に澤田は自分達
の味方に立つて呉れた人、
グン〜と船を漕ぎます
マゴ〜したら加勢に出て
て呉れようといふ、そこは
人情だから四五十人が一か
たまりになつて堅くなつて
つたつて、これを打つて
やうと、坂月秋満兩入の
方へ見當をつてゐる者も
ある、氣の早い奴があるも
のだが、そんな事目には
入らない、逆上せあがつた
兩人が澤田の方へ詰り寄つ
た。

坂田藤助
胃腸薬
胃腸を害む或は下痢をしたり或は三日も四日も便
通がなくて頭痛を覚ゆる御方は、キ、メの早い
靈効散 を御試下さい
胃腸病、心臓病、肺病、適應薬
三年五年と患ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あ
ります御望の方には見本薬一日分を差上げますか
ら御遠慮なく御來局下さい
阿康薬局
定価一五十錢 壺 壺 壺
電話 四四番
振替口座東京三三三番
御子孫方には飲み易い小兒靈効散があります

新築落成
外科 (内臓外科及一般外科)
X光線科、花柳病
内科、小兒科
院長 前田 清美
前田醫院
田町本町電話二四番
入院隨處 (自炊の便あり)
X外科 専門
平 南 町
上田醫院
病室完備 (電話二二九)
生花教授
池ノ坊 生花を懇切丁寧に御教授いたし
ます、お遊びながら御出下さい
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの
上原 家政婦會
會主産婆 上原通子
電話二二番
産婆看護婦資格有者ニシテ最モ熟練
ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シ
マス

外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
〔血液検査毎日〕 平市新川町二七〔電話四六四〕
イツデモ 醫學博士 北川 芳夫
入院デキマス。 技 師 小林 良次

耳鼻科 専門
平市南町一六番地
大和田醫院
(入院隨處) 電話一七〇番
病室完備

和洋 建築
家具
其他裝飾品一般
御用命は迅速に御努め致します。
諸官衛 製作販賣
御用達 平市五丁目四
電話 四八四番

片寄製作店
電話 四八四番

豆炭、コールドール販賣
一品川豆炭 大袋五貫八入 金七十五錢也
小袋壹貫八入 金二十錢也
壹袋カラ配達致シマス、ドウゾ御注
文下さい
一、コールタール一本 (十五キロ入) 金九十五錢
一本ヨリ配達致シマスカラ是非御
試メ下さい
電話三七番
阿部石炭店

男女學生夏服
高島屋の
新柄 背廣 レンコート
注文並ニ既製品
高島屋
平市二丁目 電話三八六番

根本專門
婦人科 専門
平市南町五二
根本醫院
根本貞次郎
電話三四番

關内藥局
電話 四〇番

高島屋
電話 三八六番

あす位経過すると 空模様も少し変わる?

小名濱 残暑打診

盆が来るのにこの暑さである。秋立つて既に一週間、残暑の凄まじい例年のこと乍ら最高温度が風通しの良い神谷農試分場ですら三十二度七分(攝氏九〇・八〇)と云ふ水銀柱の奔騰を見せた昨十三日は市内の工場地帯などは九十三四度以上に達した。朝夕は涼しいと云ふものの日中はまさに釜中の湯である。七夕も済んだしこうなるに勝手乍ら一と雨欲しくなるが一体この暑気は何時迄続くか、小名濱測候所では...

本州内は即日 速達郵便の便益

平局を基調として眺めた

愈々明日十六日より全国的に速達郵便の便益に實施される速達郵便の内、郵便物の表面に「速達」で朱記料金を貼付の上郵便四十六銭、入場者の多い局窓口に出し又はポストの口へ投入する。各市町には従来の速達便の外速達専用送達便五十二、返信を往復同様に速達で六百七十八名である。六便増設して其の速達を圖ることとなつてゐる。尚ほ此の速達郵便に依れば例へば平局を中心として...

時節柄御辭退 提灯屋さん憂鬱

生活改善と傳統との相剋

新盆の家に於ける提灯其他の儀を以て迎へられた之れが水戸、東京行午後五時三十分迄、大阪行午前九時三十分迄、札幌行午前三時三十分迄。新盆の家に於ける提灯其他の儀を以て迎へられた之れが水戸、東京行午後五時三十分迄、大阪行午前九時三十分迄、札幌行午前三時三十分迄。新盆の家に於ける提灯其他の儀を以て迎へられた之れが...

けふ平市會 豫算、委員附託

平市會は十四日午前十時半正豫算の質問に入つて正から開き條例規則について午後一時から再開。委員附託 石城乾藏 石城乾藏 石城乾藏...

祭祝厳修

平市役所

北支那支那軍以来各種神社で國威發揚、皇軍戰捷の祈願祭、奉養をなすのが増加してゐる。平市役所では縣からの通牒に基き關係方面へ今後益々祭祝を厳修すると共に祈願祭の執行、神でも八十八圓に上り守札の授與には國民奉養の費してゐる」と今度は鈴木...

海への歡喜も束の間 哀れ少年水底に眠る

昨日仁井田浦の悲劇

福島市鐵道一萬一の一の事あつては悲しき事先へ引を目的に結成された平市軍軍事義會陣容整理に先づ五千圓を募集...

七夕祭 談會

座席出

平市會研究會 平市會研究會 平市會研究會 平市會研究會...

槍投

工場を改善せよ

完全燃焼も 消煤装置も金を出さへすれば或程度目的を達し得る今日の工場の程度は...

軍事義會陣容整理

遺族慰問費に 先づ五千圓を募集

昨日、兵士慰問と家族救済を目的に結成された平市軍軍事義會の陣容整理が十三日、平市會で決まると決定、先づ遺族慰問費に先づ五千圓を募集...

バス衝突事件公判

次回は来る廿四日

北支支隊に奮戦する我が兵隊さんへお贈り致して下さる。...

血染の日章旗

健康な乙女の純情に 平署員感激

の白メリスに一枚は直徑五寸程、一枚は七寸程の生々しい血染めの手紙の消印は小名濱局で、その筆跡から見ると若くは女性らしく署員一同の「乙女の純情」に感激して直に福島縣隊司令部長に送らせた。...

復鮮明 筆觸快速 ゼネラル カールボーン紙

魁文堂 電話 313 番

平市會研究會 平市會研究會 平市會研究會 平市會研究會

軍國熱唱の歌

愛國レコード入荷

金光堂蓄音器部 平市電一九五

歯科一般

平市町(安齋醫院向) 齋藤醫院

齋藤醫院 醫學士齋藤賢三

歯科一般

平市町(安齋醫院向) 齋藤醫院

齋藤醫院 醫學士齋藤賢三

奉獻金

永戸村青年團 奉獻金 永戸村青年團

永戸村青年團 奉獻金 永戸村青年團

奉獻金

永戸村青年團 奉獻金 永戸村青年團

永戸村青年團 奉獻金 永戸村青年團

奉獻金

永戸村青年團 奉獻金 永戸村青年團

永戸村青年團 奉獻金 永戸村青年團

奉獻金

永戸村青年團 奉獻金 永戸村青年團

永戸村青年團 奉獻金 永戸村青年團